

ふるさに学ぶ～島民みんなで育てる奥尻の子～

北海道奥尻町	●活動名	●関係する学校名
	奥尻町地域学び支援ネット	奥尻町立奥尻小学校 奥尻町立青苗小学校 奥尻町立奥尻中学校

協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成30年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	—	—	—	地域人材育成	—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	—	—	配置人数	—
—	—	1人	—	—	—	—
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無	—
—	184人	—	—	—	—	—
参考URL	二					
●連絡先	奥尻町教育委員会社会教育係		☎ 01397-2-3890			



●活動の概要・経緯

奥尻町における地域学校協働本部である「奥尻町地域学び支援ネット」は、社会教育関係団体及び北海道家庭教育サポート企業等（令和2年5月現在63社）、行政機関等から構成され、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるネットワークを形成しながら、奥尻らしい「学校づくり」と「地域づくり」を目指した地域学校協働活動を推進する体制として、平成29年に設置された。平成30年には小学校2校、平成31年には中学校1校に学校運営協議会を設置し、「ふるさに学ぶ～地域が育てる奥尻の子」を各校共通のテーマに掲げ、地域住民や保護者の意見を反映した島の特色を生かした地域学校協働活動を展開している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 「奥尻町地域学び支援ネット」の事務局を町教育委員会（事務局社会教育係）に設置するとともに、社会教育主事を地域コーディネーターとして配置し、学校と社会教育関係団体や北海道家庭教育サポート企業等の様々な地域人材が連携することにより、奥尻の子どもたちを島全体で育てるとともに、地域の取組を島の活性化につなげる体制を整えた。
- 土曜日等の教育支援活動として、「奥尻町地域学び支援ネット」の人材を活用し、島の豊かな自然をフィールドとした自然体験活動や過去の津波災害を教訓とした防災教育など、島の人材・資源・歴史に学ぶ「おくしりチャレンジスクール」を年間8回程度実施し、子どもたちの体験活動を推進している。

【実施に当たっての工夫】

- 各学校において、授業や学校行事、環境整備等で地域人材と円滑に連携を図ることができるよう、地域コーディネーターが調整役を担うとともに、学校ボランティアや北海道家庭教育サポート企業等、社会教育関係団体等の情報をまとめた「学校支援ボランティアリスト」を作成・配布している。

【関係機関・団体等との連携状況】

- 地域コーディネーターが各学校を訪問し、地域学校協働活動に関する情報提供を行うとともに、学校運営協議会へ参加し活動の状況を把握したり、連携に必要な情報を聞き取ったりしている。
- 活動内容をまとめた「奥尻学び支援ネットだより」を作成し、「奥尻町地域学び支援ネット」構成員に配布し、情報共有している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 地域人材や地域資源を活用し、子どもたちへ「本物」に触れることのできる体験活動の機会を創出することを通して、生きる力や自己肯定感を育むとともに、子どもたちのふるさとへの愛着をより一層高めることができた。
- 「子どもたちのために」という地域住民の思いを、子どもたちの体験活動につなげることを通して、新しい地域人材の発掘を行うことができた。
- 地域学校協働活動の取組を通して、島民みんなで子どもを育てる気運が醸成され、地域や団体の活性化につながっている。

● その他

北海道家庭教育サポート企業であるハートランドフェリー奥尻支店と協力し、島の大切な交通の要であるフェリーについて親子で学ぶ機会を提供した。また、学校運営協議会委員が調整し、島の特産物であるスルメイカを調理する食育の授業を食生活改善推進協議会と連携して行った。



島の重要な交通の要であるフェリーについての親子で学ぶ機会を提供



食生活改善推進協議会の協力を得て調理した特産物の食育の授業